

# イスターカーテン らくなーざ（框ドア付） 扉

## 取付説明書

このたびは、TOKOの商品をご採用いただきましてありがとうございます。  
商品の組み立てや取り付けには、この説明書をお読みになり、正しく美しく仕上げてください。  
ここに示した注意事項は、商品の性能・機能および強度や安全性を確保する上での重要な内容です。  
取り付けにあたって必ずお守りください。

### ■工事店様へのお願い

同梱されている取扱説明書は、必ず施主様にお渡しください。

### ———目次———

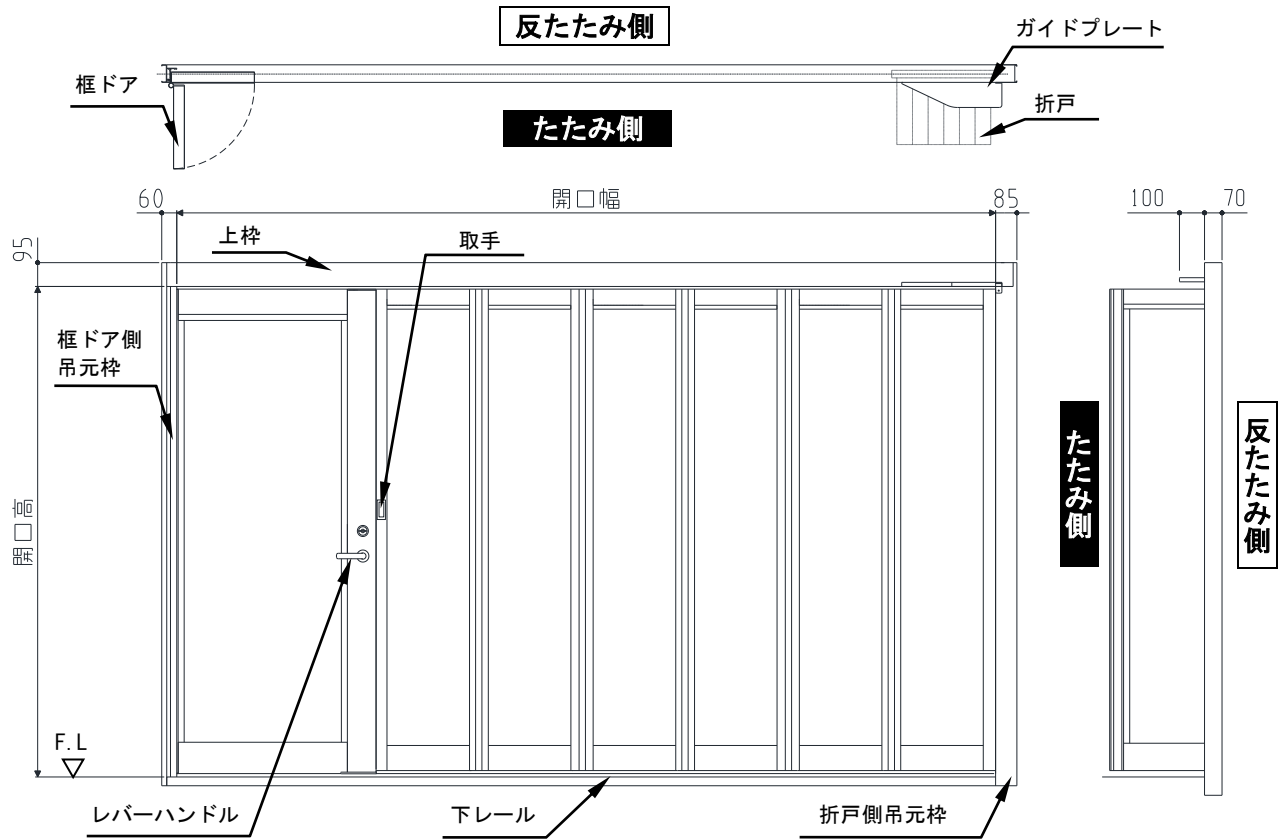
□取り付け上の注意事項	P 2
□基本納まり	P 3
□梱包内容	P 3
□必要工具類の確認	P 5
□取り付け手順	P 6
<b>1</b> 折戸の吊り込み準備	P 7
■ 納まりガイドの取り付け	P 7
■ インナーレールの取り外し	P 7
<b>2</b> 折戸の吊り込み	P 9
■ 折戸の吊込み	P 9
■ 折戸の連結	P 10
■ インナーレールの取り付け	P 11
■ 吊元ストッパーの取り付け	P 11
■ ストッパーの確認	P 12
■ ストッパーの調整方法	P 12
■ ガイドプレートの取り付け	P 13
<b>3</b> 框ドアの吊り込み	P 14
■ 框ドアの吊り込み	P 14
■ 丁番位置の確認	P 15
■ 丁番位置の調整方法	P 15
■ レバーハンドル取り付け	P 16
■ ドアクローザーの取り付け	P 16
<b>4</b> 落しツボの取り付け	P 17
<b>5</b> 折戸ストッパーの調整	P 18
■ 折戸ストッパーの確認	P 18
■ 折戸ストッパーの調整方法	P 18
<b>6</b> ねじ止め禁止ラベルの取り外し	P 19
□取り付け後の点検	P 20

## □取り付け上の注意事項

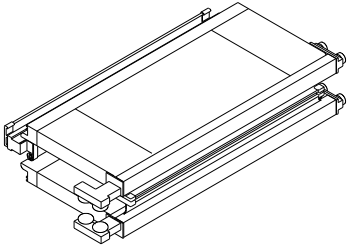
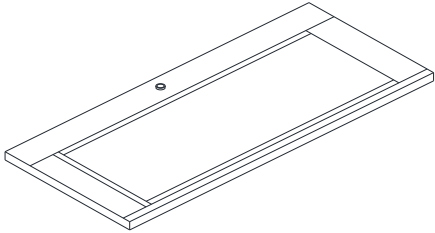
- ① 各部材の組み立て・取り付けは、取付説明書通り確実にこなってください。
- ② ねじ止め箇所は、指示してあるねじをすべて確実に締めてください。
- ③ 指定の部品以外は使用しないでください。
- ④ 枠の内法寸法を十分確認してください。
- ⑤ アルミ部材の腐食防止のため、以下の点に注意してください。
  - (1) アルミ部材の表面に付着したモルタルや汚れは、速やかに取除いてください。
  - (2) アルミ部材と、銅板や鉄などの異なる金属が接触しないようにしてください。  
必要に応じて、ビニールテープ・塗装などにより絶縁処理をおこなってください。
- ⑥ 折戸、框ドア本体は重いので、二人以上で扱うなど、取り付けには十分ご注意ください。
- ⑦ 取り付け後、ねじ類にゆるみやガタツキがないか点検してください。
- ⑧ 商品の外観に有害なキズ、ヘコミ等がないか確認してください。
- ⑨ 開閉作動や施解錠が正常におこなえることを確認してください。

## □基本納まり

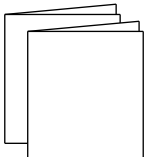
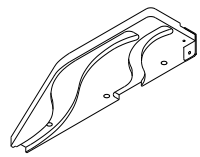
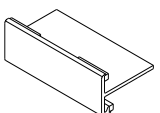
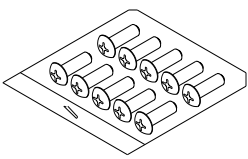
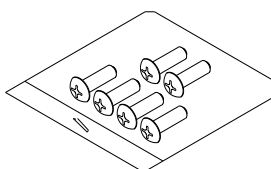
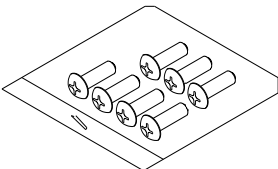


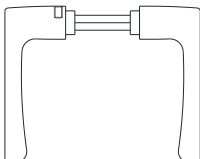
本図は、35R型・片引き:右勝手を示します。  
 NR型は下レールがありません。  
 ※寸法単位はmmです。



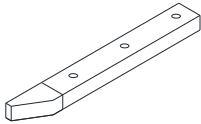
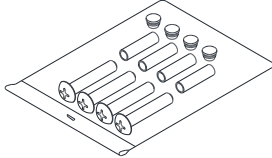
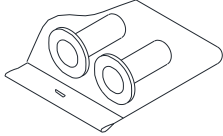
## □梱包内容

品名	形状	個数	備考
折戸		必要数	
框ドア		1	

■同梱部品

取付説明書			1冊	<p>同梱されている 取扱説明書は、 必ず施主様に お渡しください。</p> <p><b>注意</b> →</p>
取扱説明書			1冊	
ガイドプレート			1個	
吊元ストッパー			2個	
吊元ストッパーネジセット1			必要数	吊元ストッパー取付用 (+)小ねじトラス M4×10 袋詰め(予備を含む)
ガイドプレートネジセット1			必要数 (頭部黒)	ガイドプレート取付用 (+)小ねじトラス M4×20 袋詰め(予備を含む)
			必要数 (生地)	ガイドプレート取付用 (+)小ねじトラス M4×10 袋詰め(予備を含む)
扉連結ネジセットS1			必要数	扉連結用 (+)タッピンねじトラス 4×25 袋詰め (予備を含む)
ドアクローザー	本体		1個	<p>同梱されている 取扱説明書は、 必ず施主様に お渡しください。</p> <p><b>注意</b> →</p>
	取付説明書 兼 取扱説明書		1冊	
レバーハンドル			1セット	同梱

■同梱部品 ※NR 型の場合のみ

納まりガイド		1 個	
納まりガイド部品セット		必要数	納まりガイド取付用 (+)丸木ネジ 4. 1×3 2 カールプラグ ホールカバー 袋詰め (予備を含む)
落としボ		必要数	袋詰め

□必要工具類の確認

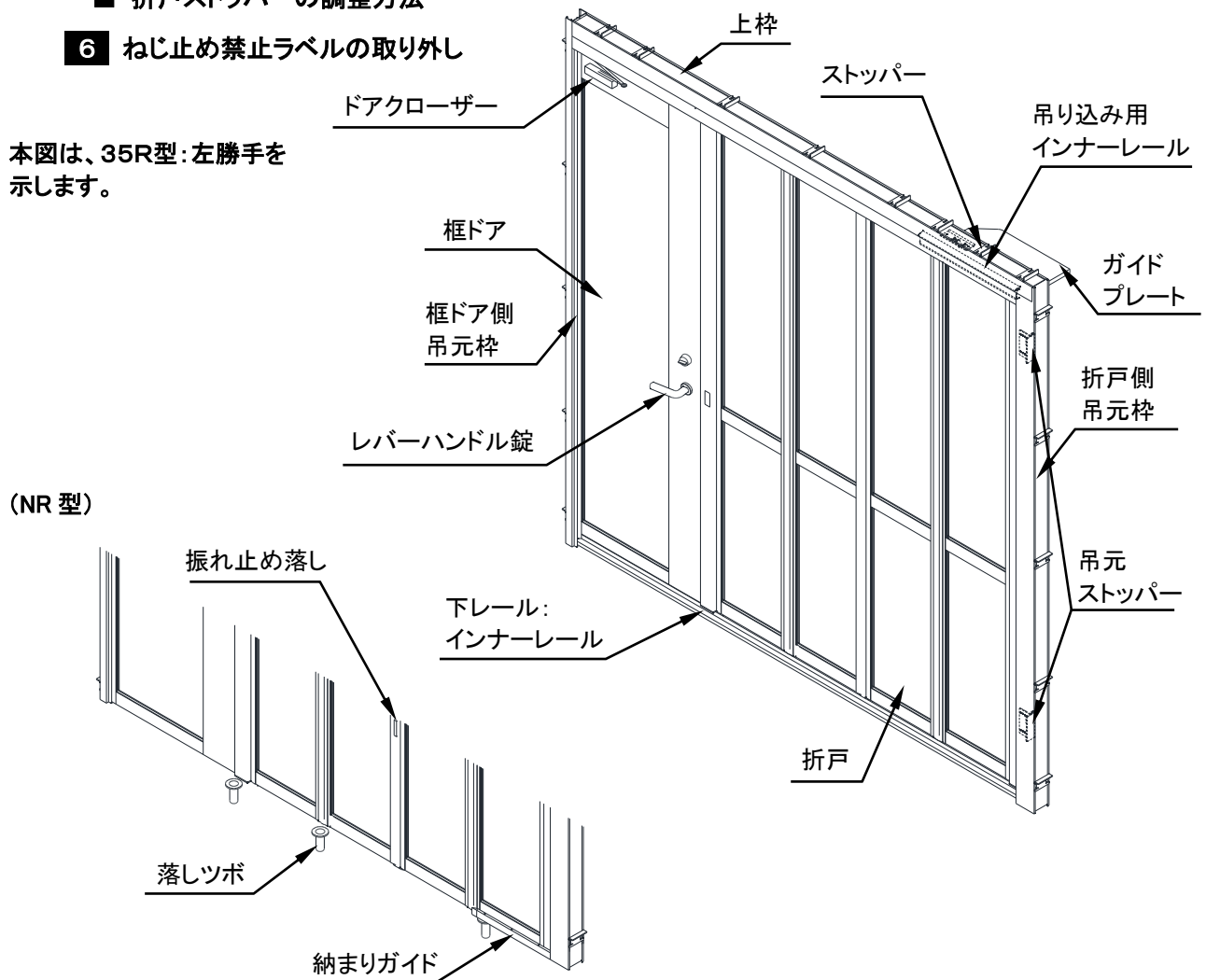
(+)手動ドライバー 2号	鋼製巻尺
カッター	水平器
電動ドライバー	脚立
ニッパー	足場板
ひも	

## □ 取り付け手順

取り付けは、以下の手順でおこなってください。

- 1** 折戸の吊り込み準備
  - 納まりガイドの取り付け
  - インナーレールの取り外し
- 2** 折戸の吊り込み
  - 折戸の吊込み
  - 折戸の連結
  - インナーレールの取り付け
  - 吊元ストッパーの取り付け
  - ストッパーの確認
  - ストッパーの調整方法
  - ガイドプレートの取り付け
- 3** 框ドアの吊り込み
  - 框ドアの吊り込み
  - 丁番位置の確認
  - 丁番位置の調整方法
  - レバーハンドルの取り付け
  - ドアクローザーの取り付け
- 4** 落としツボの取り付け(NR型の場合のみ)
- 5** 折戸ストッパーの調整(35R型の場合のみ)
  - 折戸ストッパーの確認
  - 折戸ストッパーの調整方法
- 6** ねじ止め禁止ラベルの取り外し

本図は、35R型:左勝手を示します。

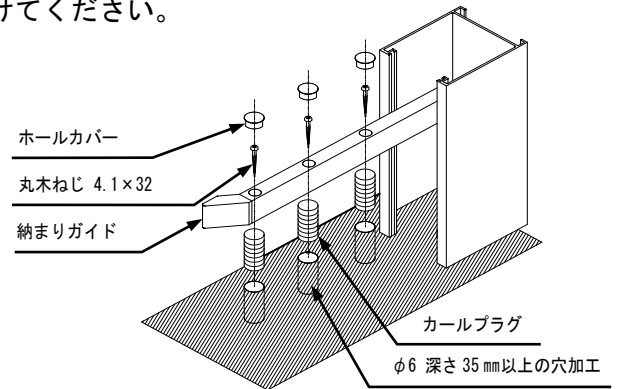
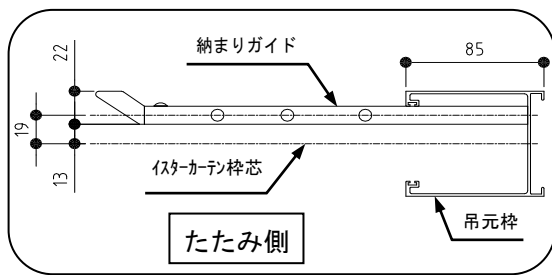


# 1 扉の吊り込み準備

## ■納まりガイドの取り付け（NR型の場合のみ）

取り付け位置は、基準墨（イスターカーテン枠芯）より正確に位置出しをおこなってください。納まりガイドは本体下部をガイドする機能を持ちますから、ガタツキがないように確実に取り付けてください。

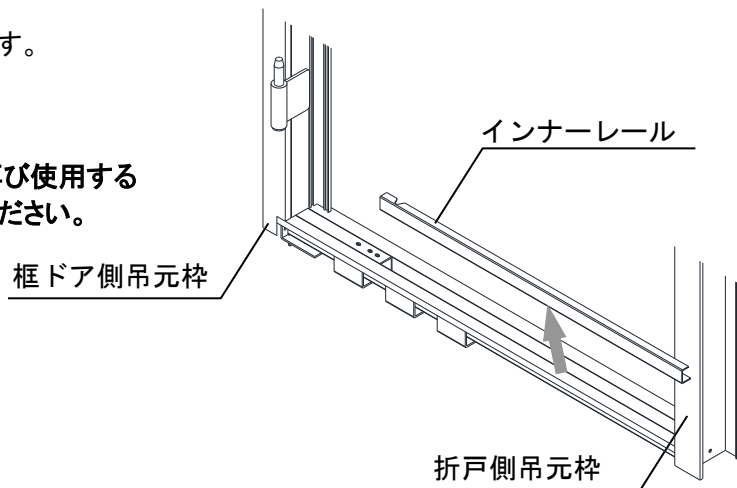
- ・納まりガイドを下図記載の寸法にて取り付け穴加工位置を出し、 $\phi 6$  のキリにて土間に深さ 35 mm 以上の穴を開けてください。
- ・穴にカールプラグを差込んでください。
- ・納まりガイドを取り付け位置に設置してください。
- ・ (+) 丸木ねじ  $\phi 4.1 \times 32$  にて納まりガイドを固定してください。
- ・納まりガイドの穴加工位置にホールカバーを取り付けてください。



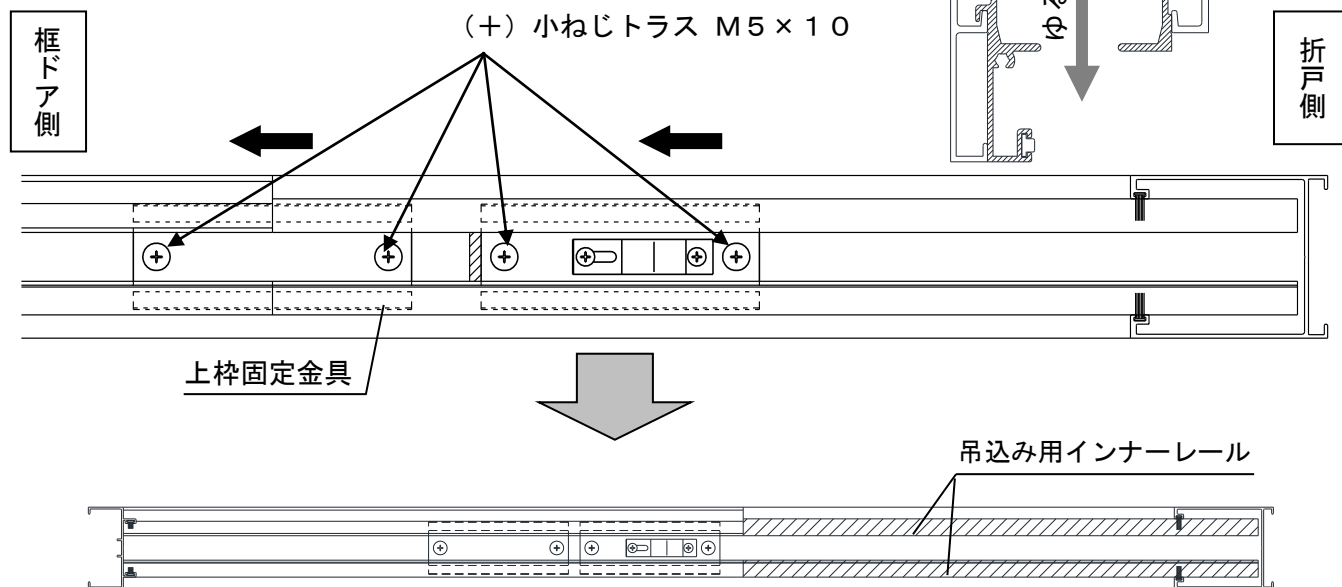
## ■インナーレールの取り外し

- ・下レールのインナーレールを取り外します。  
(35R型の場合のみ)

**注意** 取り外したインナーレールは、再び使用する  
ので紛失しないように注意してください。

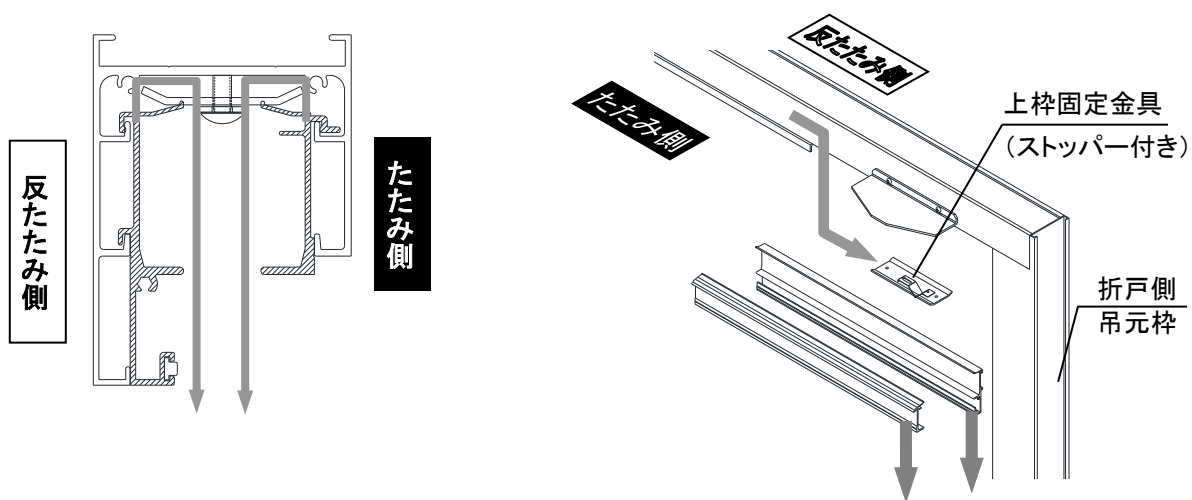


- 上枠の吊り込み用インナーレールを取り外します。
- ・折戸側の2個の上枠固定金具を止めている(+)小ねじトラス M5×10 をゆるめて、戸当り・召し合せ側にスライドさせます。



- ・折戸側に取り付けてある吊込み用インナーレールを外します。
- ・スライドさせたストッパー付きの上枠固定金具を上枠から外します。

**注意** 取り外したインナーレール、上枠固定金具は、再び使用するので紛失しないように注意してください。

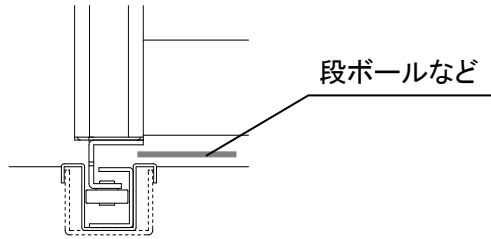




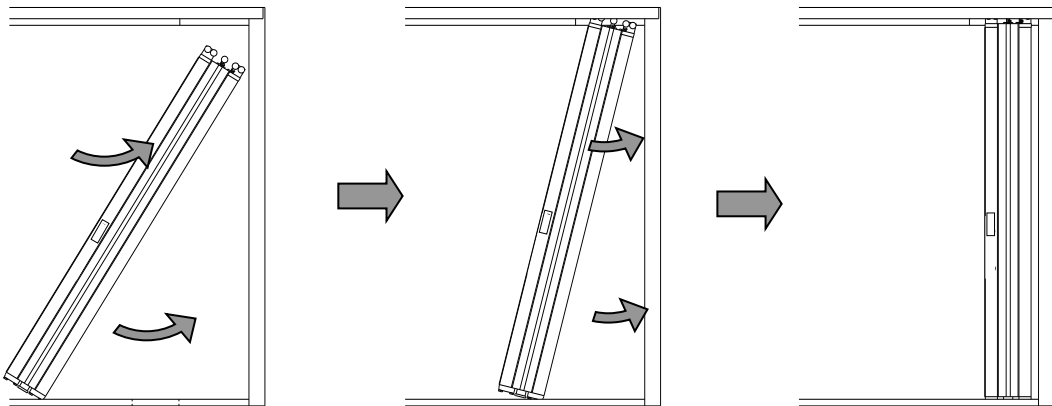
## 2 折戸の吊込み

### ■折戸の吊り込み

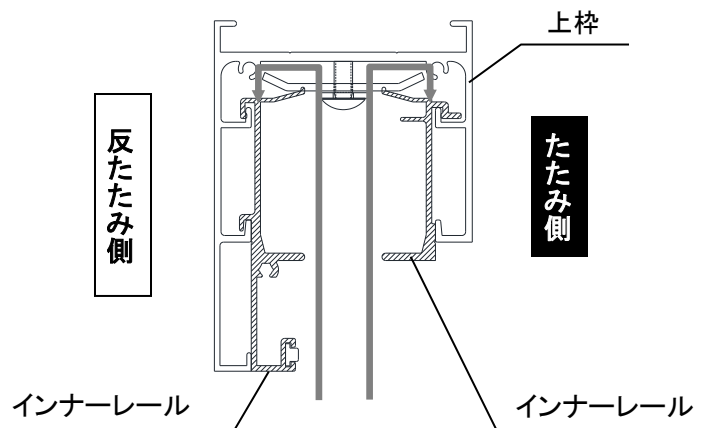
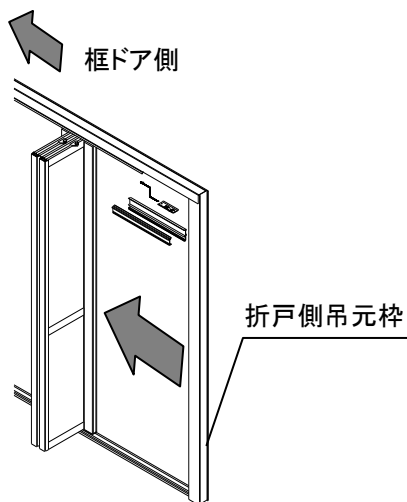
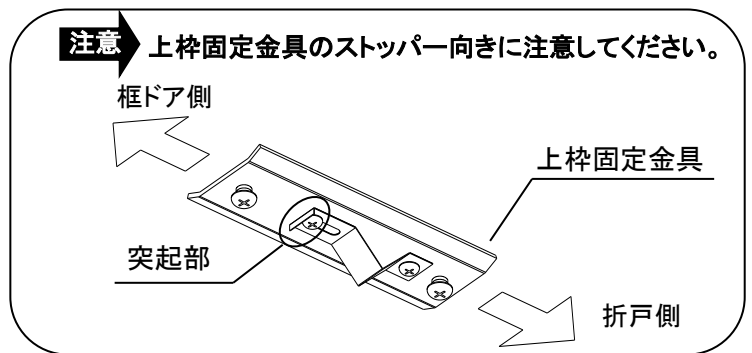
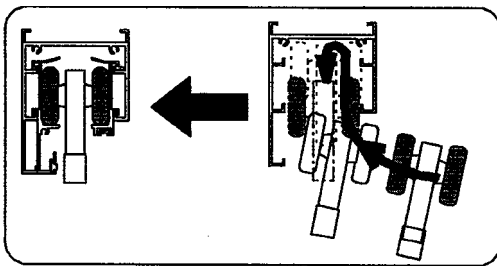
- ・下レール・土間・床に段ボールなどを敷き、キズがつかないようにしてください。  
下図は35R型を示します。



- ・折戸を上枠の折戸吊込み位置に斜めにセットし、枠内に入り込ませます。
- ・上枠のローラーが上枠の中に入り込むように、扉を起こします。
- ・下部ローラーを下レールの溝にはめ込みます。(35R型の場合のみ)

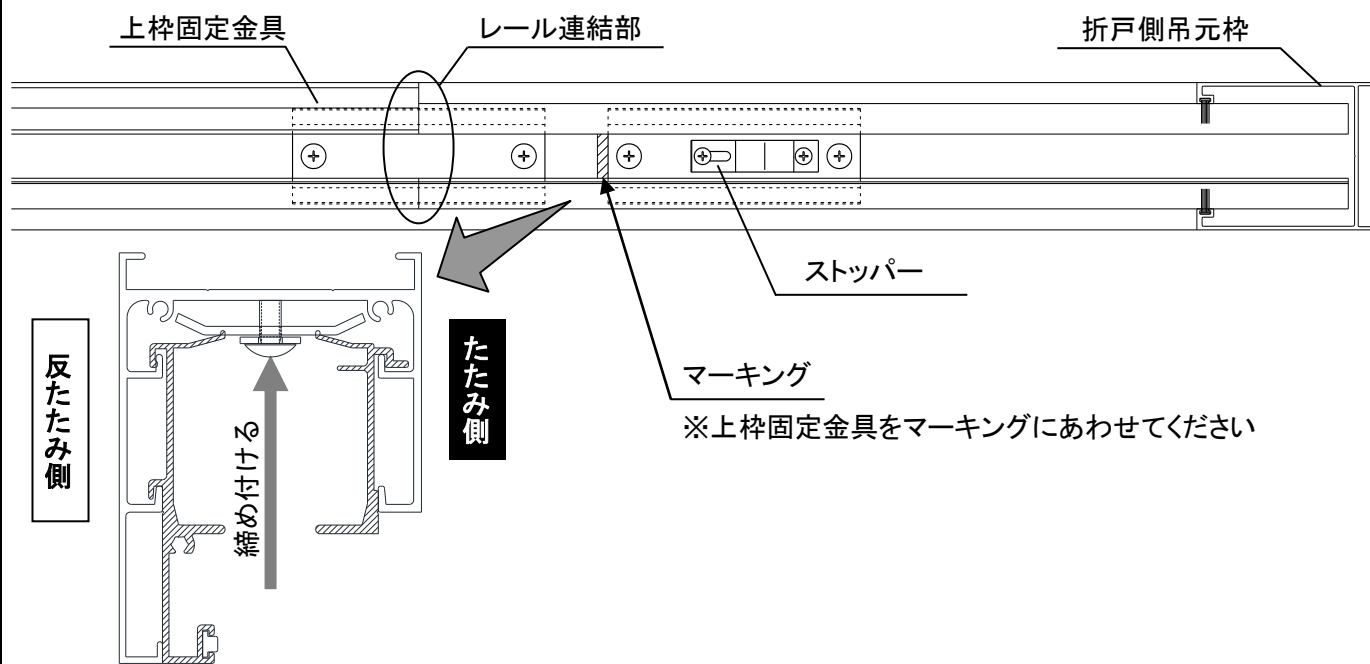


- ・折戸を持ち上げて、上部ローラーをレールに乗せ、折戸をたたんだ状態で戸当り・召し合せ側に動かします。
- ・ **1** で取り外した上枠固定金具とインナーレールを元の位置に取り付けます。



・上枠固定金具を元の位置にスライドし、ねじを締め付けて、上枠とインナーレールを固定します。

**注意** ▶ レール連結部に隙間が出来ないように注意してください。

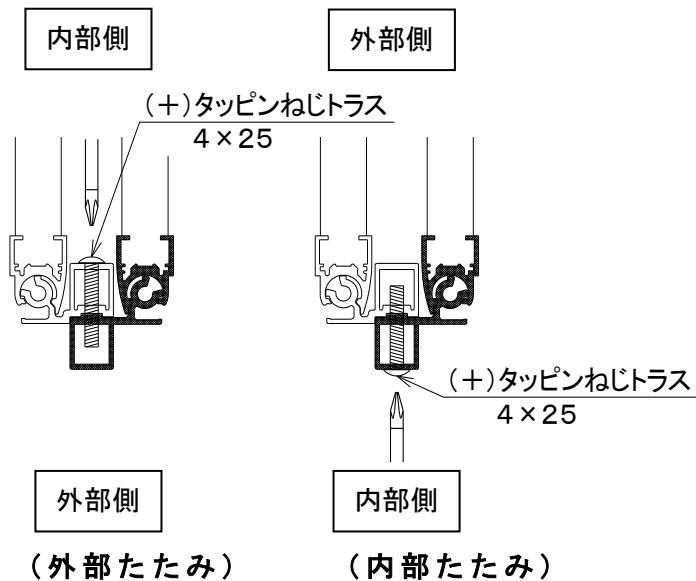


## ■折戸の連結

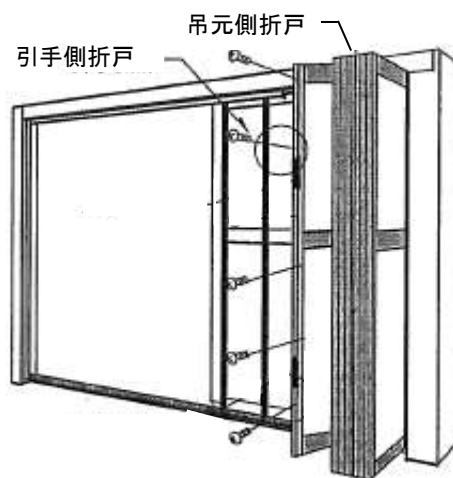
連結は、連結する折戸同士を半開き状態にして行います。

- ・吊元側折戸と引手側折戸のジョイント部を下図のように組み合わせてください。
- ・折戸同士を(+)タッピンねじトラス 4×25 で固定してください。

**注意** ▶ 折戸の連結は、内部たたみ・外部たたみで連結が異なりますので注意して下さい。

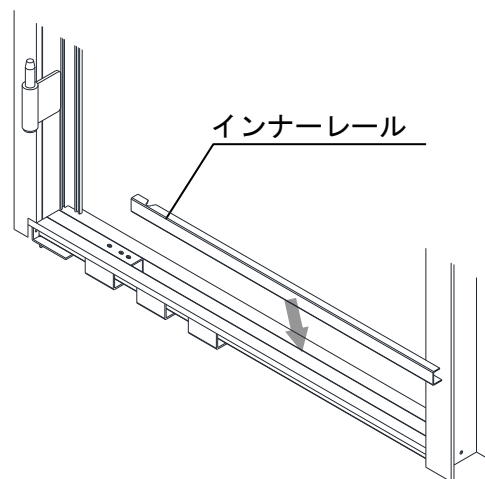


**注意** ▶ 手動ドライバーを使用して連結してください。電動ドライバーはねじの締め付けが出来なくなる場合があります。



## ■ インナーレールの取り付け（35R型の場合のみ）

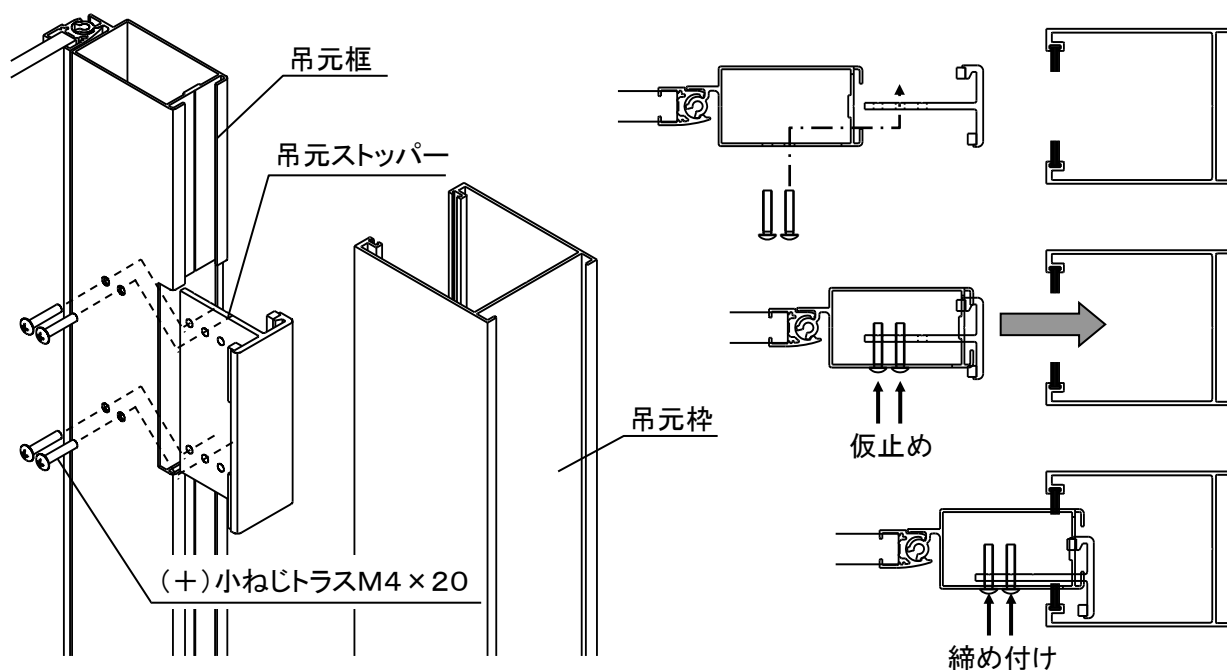
- 1 で取り外したインナーレールを元の位置に取り付けます。



## ■ 吊元ストッパーの取り付け

吊元框に吊元ストッパーを取り付けます。（上下2ヶ所）

- 吊元ストッパーを（+）小ねじトラス M4×20 にて吊元框に仮止めします。
- 吊元框を吊元枠に入れます。
- （+）小ねじトラス M4×20 を締め付けます。



## ■ストップパールの確認

折戸全開時のストップパールのかかり具合を確認します。

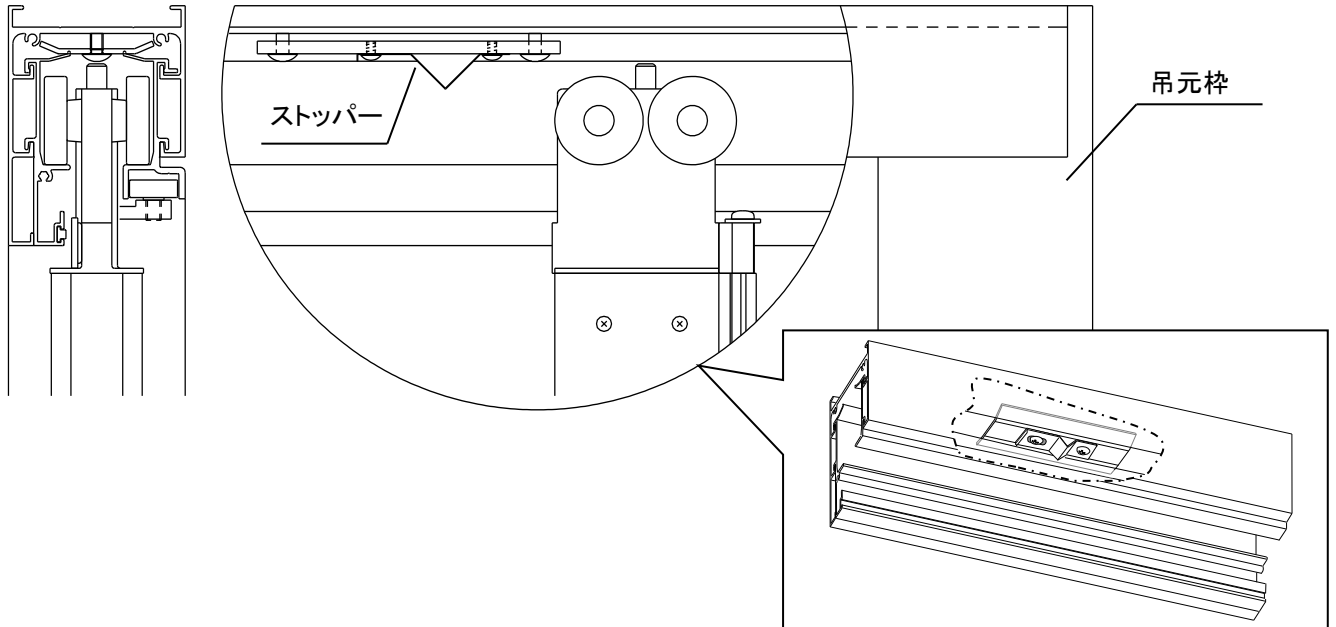
- ・折戸を全開させ、スムーズにたためるか確認してください。
- ・折戸を全開状態で保持できるか確認してください。

<全開時に折戸が最後までたためない場合>

ストップパールのかかり量が大きいため、ストップパールのかかり量を小さく調整してください。

<全開時に折戸のはね返りが大きく、保持できない場合>

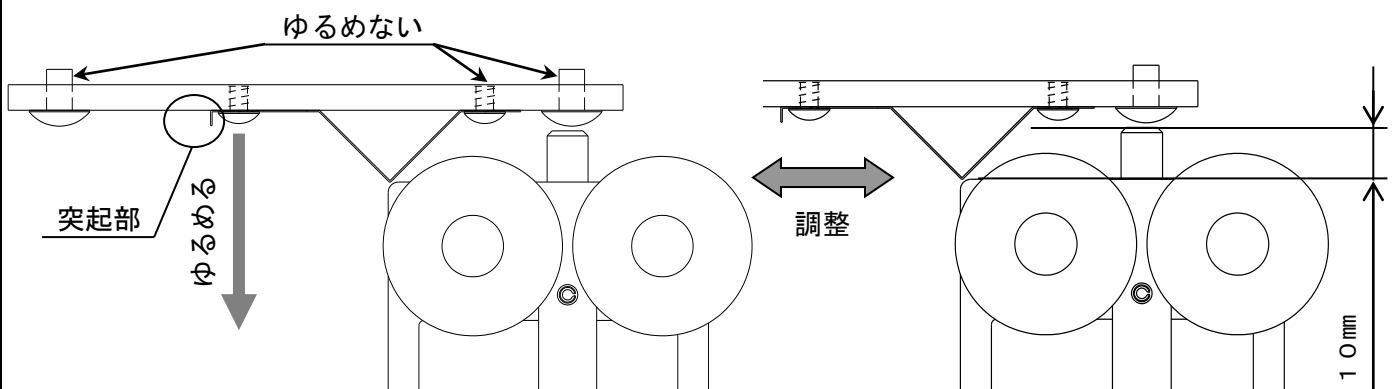
ストップパールのかかり量が小さいため、ストップパールのかかり量を大きく調整してください。



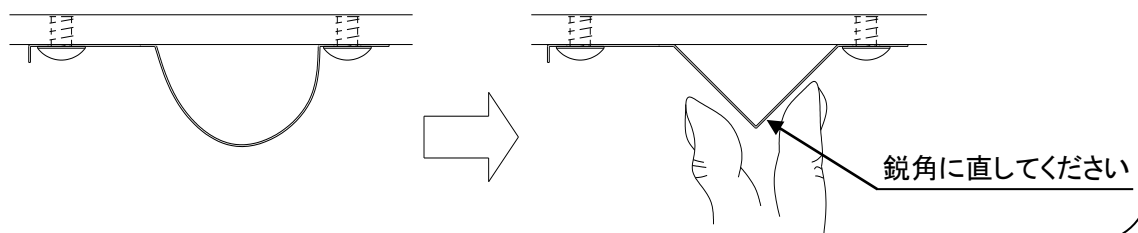
## ■ストップパールの調整方法

・ストップパールの突起側のねじをゆるめてください。

・突起に指または、マイナスドライバー等を掛けてストップパールの高さを調整します。調整が終わったら、ゆるめていたねじを締めてください。

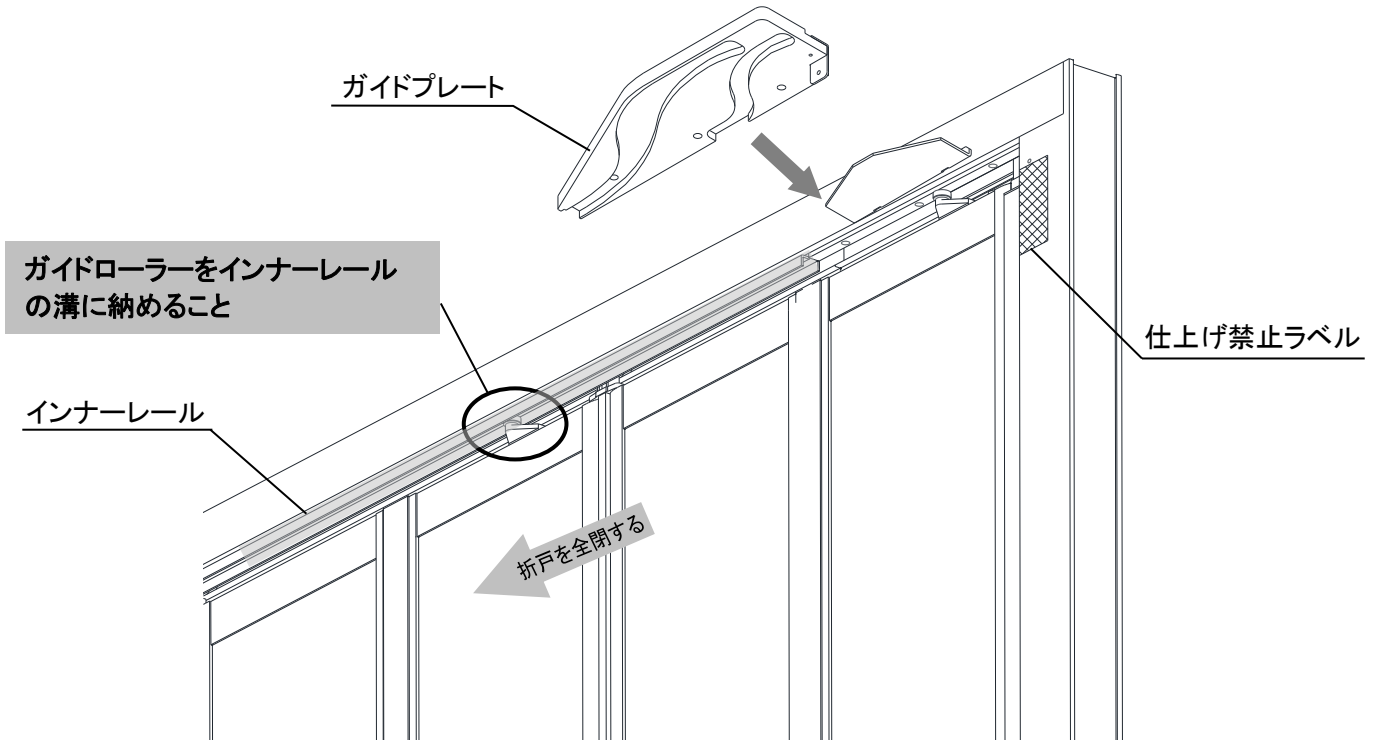


**注意** ストップパールを調整した際、ストップパール形状が変形した場合は、ストップパールを鋭角に直してください。

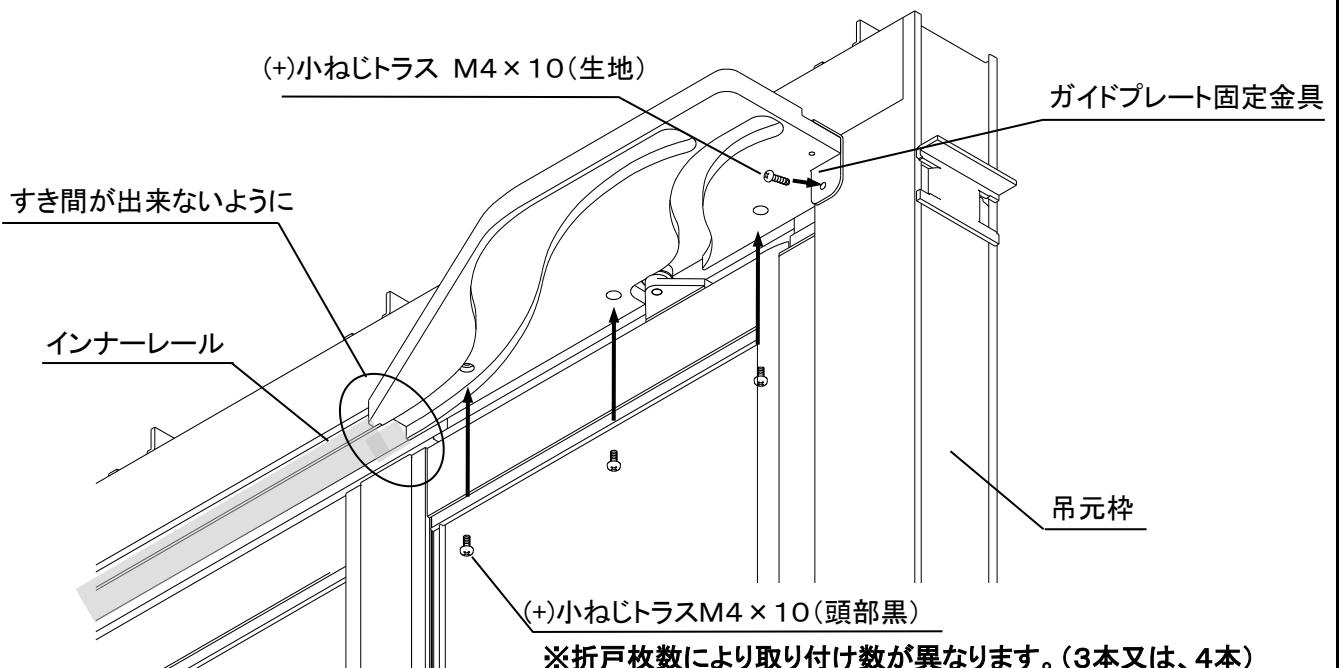


## ■ガイドプレートの取り付け

- ・仕上げ禁止ラベルをはがしてください。
- ・折戸上部のガイドローラーをインナーレールの溝に通しながら、扉を全閉してください。
- ・ガイドプレートをインナーレールとすき間が出来ないように、(+小ねじトラスM4×10(頭部黒))にて固定してください。
- ・ガイドプレート固定金具を吊元枠に、(+小ねじトラスM4×10(生地))にて固定してください。



**注意** ▶ ガイドプレートの取り付けは、手動ドライバーを使用して固定してください。  
電動ドライバーはねじの締め付けが出来なくなる場合があります。



※折戸枚数により取り付け数が異なります。(3本又は、4本)  
図は折戸枚数4、6枚の場合を示します。

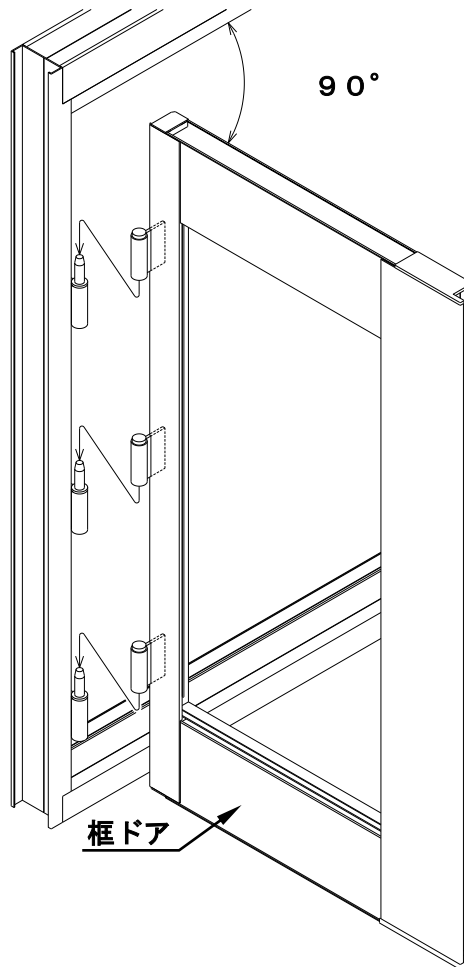
### 3 框ドアの吊込み

#### ■框ドアの吊り込み

框ドアは、たたみ側から吊込みます。

- ・丁番に取り付いている袋を取り外してください。
  - ・框ドアを枠に対し、90° 開いた状態にしてください。
  - ・框ドアを持ち上げ、框ドアの丁番を枠の丁番に差し差し込んでください。(丁番数:3)
- この際、框ドアを枠などにぶつけないよう気を付けてください。

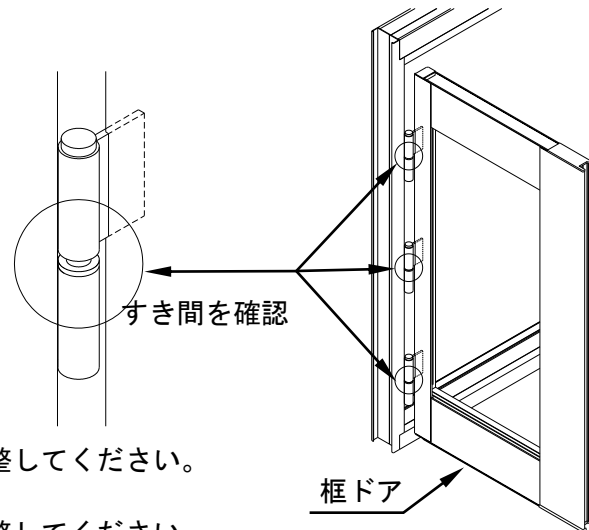
**注意** 框ドアの吊込み後は、必ず、丁番部のすき間を確かめてください。(P15参照)  
すき間があると、框ドアの開閉に支障をきたすおそれがあります。



## ■ 丁番位置の確認

・ 丁番部のすき間を確認をしてください。

框ドアを枠に対し、90° 開いた状態にし、  
丁番に右図のようなすき間がある場合は、  
框ドア側の丁番にて調整を行ってください。



< 上部、中央部丁番にすき間がある場合 >

框ドア側上部、中央部丁番を下げる方向に調整してください。

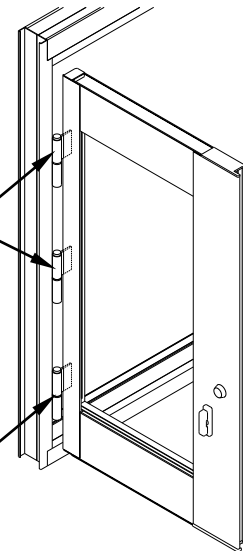
< 下部丁番にすき間がある場合 >

框ドア側上部、中央部丁番を上げる方向に調整してください。

**注意** 丁番調整は、必ず、框ドア側丁番の上部および中央部のみを  
調整してください。  
下部丁番および、枠側丁番は、動かさないでください。

框ドア側丁番の上部と中央部にて  
調整を行う

下部丁番と枠側丁番は動かさない



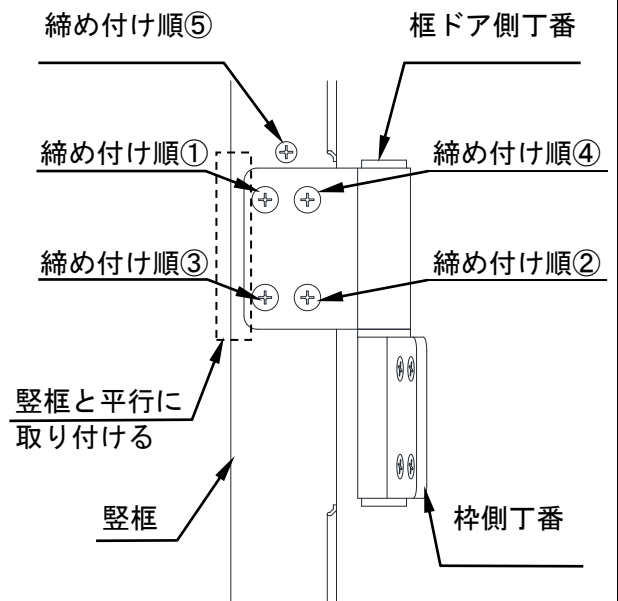
## ■ 丁番位置の調整方法

・ 右図示してあるねじ5本をすべてゆるめてください。

**注意** ねじは、ゆるめる程度とし、取り外さないでください。  
ねじをすべて取り外してしまうと丁番裏板が落下し、  
丁番が取り付けられなくなります。

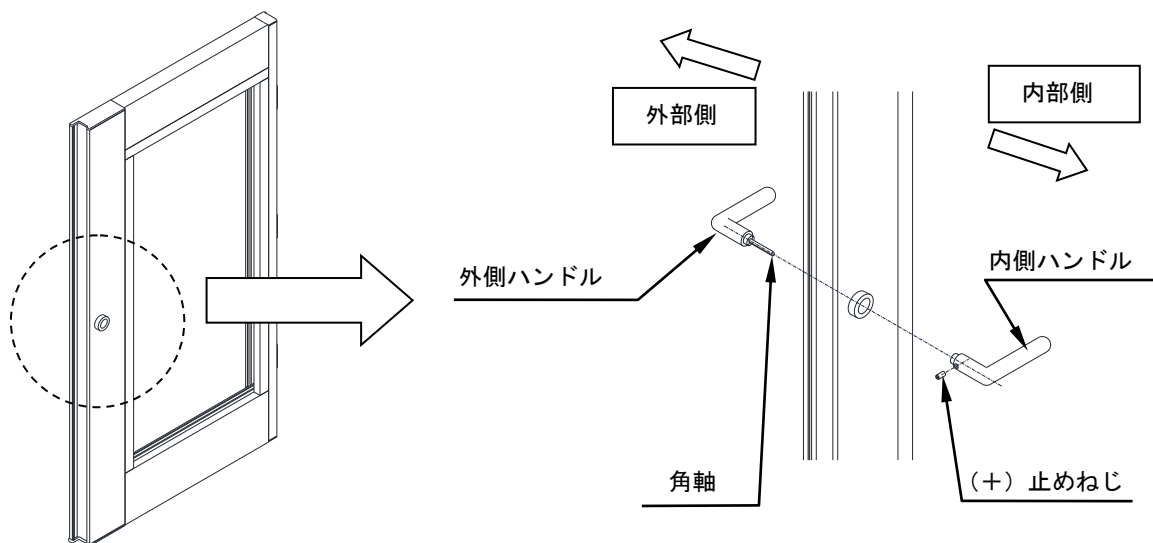
・ すき間がなくなるように框ドア側丁番を調整  
してください。

・ 調整後、ねじを締め付ける際は、丁番が傾かないよう  
堅框に対し平行に取り付けてください。  
また、ねじを締め付ける順番は右図を参考に行っ  
てください。



## ■レバーハンドルの取り付け

- ・外部側より、外側ハンドルを框ドアに取り付けます。
- ・外側ハンドルの角軸に内側ハンドルを嵌め込み、(+ )止めねじにて取り付けます。



## ■ドアクローザーの取り付け

同梱されているドアクローザーの取付説明書に従って取り付けます。  
※取り付け用の加工は枠、框ドア共にされていますので、勝手の間違いが無いように取り付けてください。

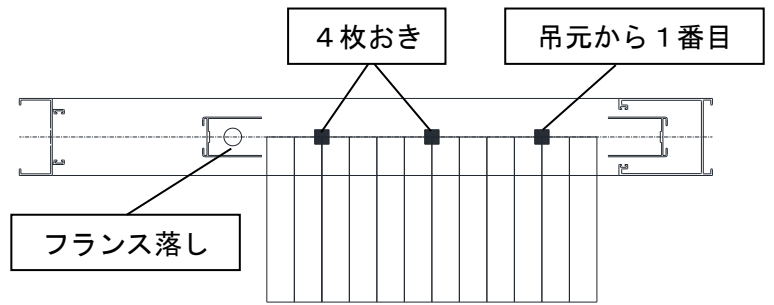
※ドアクローザーの取扱い説明書も同梱されています。  
施工終了後、必ずお施主様にお渡しください。

**注意** → ドアクローザーの調整はガラス施工終了後に行なってください。  
ガラス施工前には調整できません。



## 4 落としツボの取り付け (NR型の場合のみ)

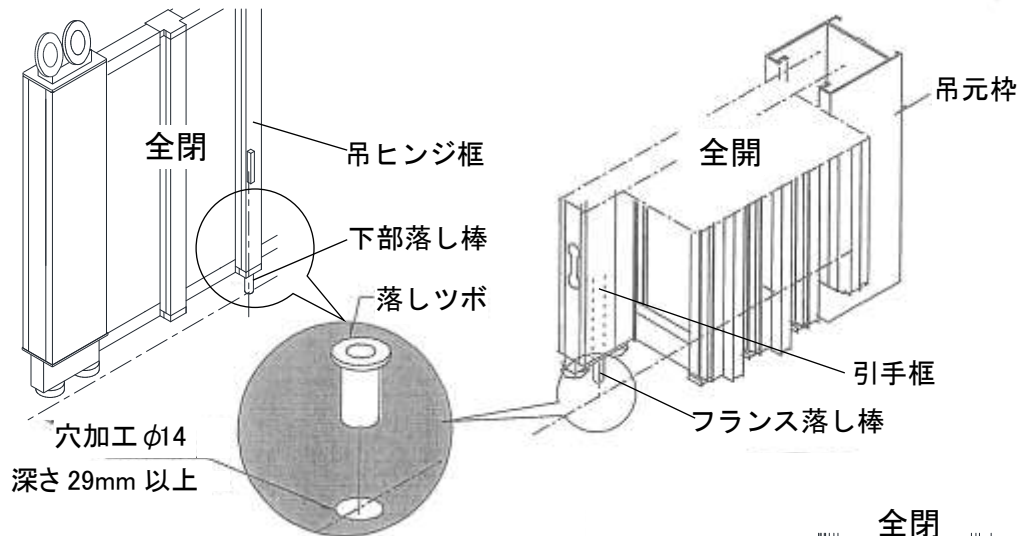
### 下部落し棒の位置



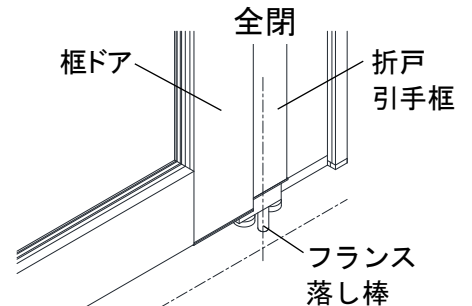
### 落としツボの埋め込み

・折戸、框ドアを全閉し、イスターカーテン枠芯上にある吊ヒンジ框の下部落し棒が落ちる位置を確認してください。その位置にφ14×29以上の穴加工をして、落としツボを埋め込んでください。

・折戸を全開し、イスターカーテン枠芯上にある引手框のフランス落し棒が落ちる位置を確認してください。落としツボ位置にφ14×29以上の穴加工をして、落としツボを埋め込んでください。

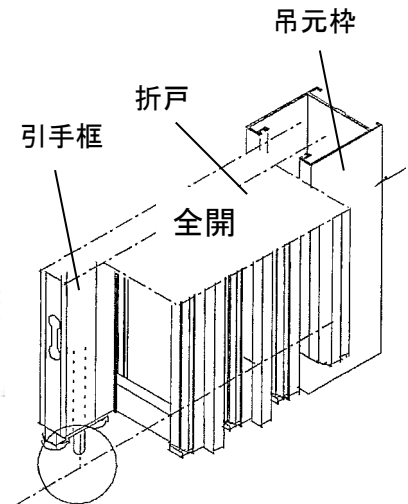


・框ドアと折戸召し合わせ部の落としツボ  
 框ドアと折戸を全閉し、イスターカーテン枠芯上にある折戸引手框のフランス落し棒が落ちる位置を確認してください。その位置で、框ドアがスムーズに開閉することを確認し、φ14×29以上の穴加工をして、落としツボを埋め込んでください。



### 傾きに注意

穴加工位置をだす際、折戸を吊元側へ押し込むと、落としをセットした際に、本体が傾くおそれがあります。  
 折戸を全開した後、手を離れた状態でイスターカーテン枠芯上にあるフランス落し棒が落ちる位置を確認してください。



## 5 折戸ストッパーの調整 (35R型の場合のみ)

### ■折戸ストッパーの確認

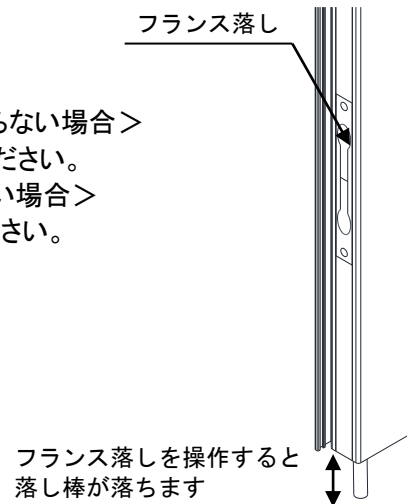
・折戸を全閉し、折戸フランス落し棒を落とした状態で、  
框ドアがスムーズに開閉できるか確認してください。

＜框ドアと折戸の間にすき間ができ、框ドアのラッチがしっかりかからない場合＞

下レールに取り付けてある折戸ストッパーを框ドア側へ調整してください。

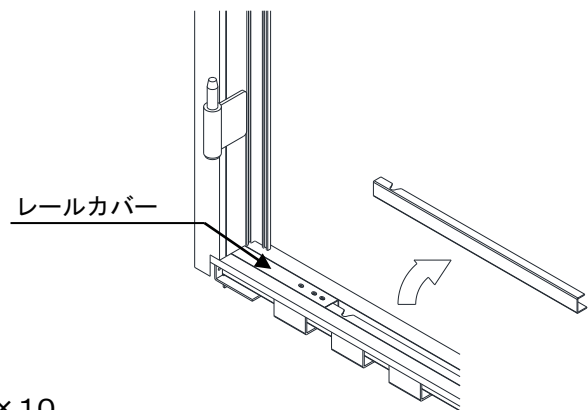
＜框ドアと折戸の距離が近く、折戸に当たって框ドアが閉まりきらない場合＞

下レールに取り付けてある折戸ストッパーを折戸側へ調整してください。



### ■折戸ストッパーの調整方法

・図のように框ドア吊元側のレールカバー隣にある  
インナーレールを取り外します。

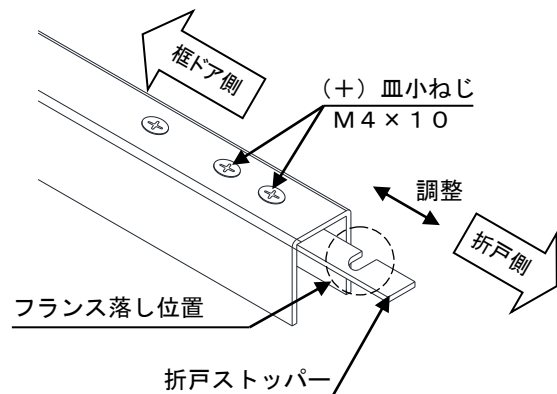


・レールカバー先端の方についている(+)  
皿小ねじM4×10  
2本をゆるめます。

折戸ストッパーが動くようになるので、フランス落し位置を  
調整し、ゆるめたねじを締めます。

**注意** → ねじをゆるめすぎると、折戸ストッパーが  
取り外れてしまいます。

・インナーレールを戻し、折戸を閉めて、折戸フランス落しの  
落し棒が落ちるか確認します。



・框ドアを閉め、開閉がスムーズに行えるかを確認します。

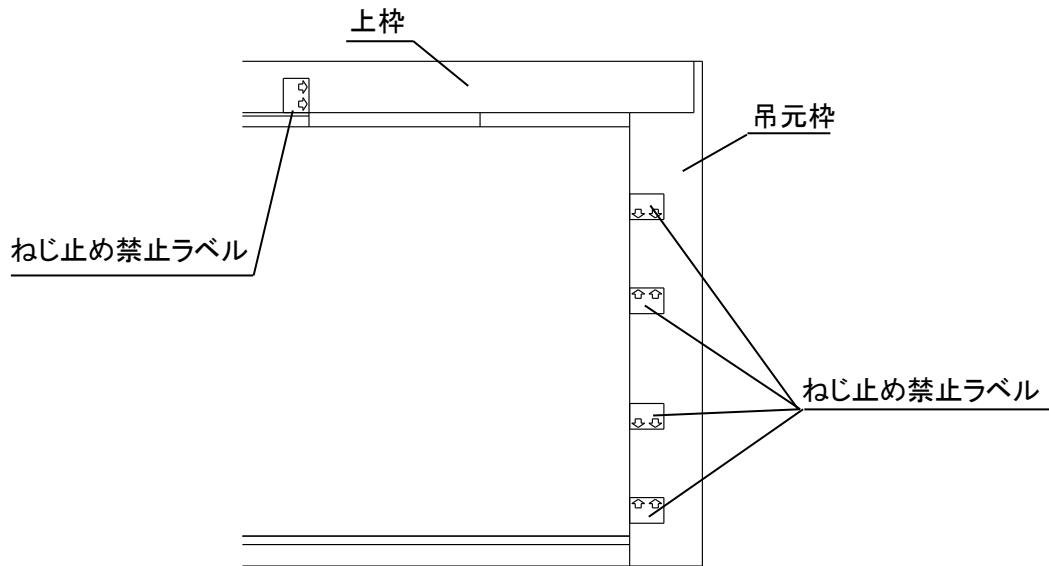
※開閉がスムーズに行えない場合、上記の作業をもう一度行い、  
折戸ストッパーを再度調整してください。

・調整が終わったら、最後にゆるめたねじがしっかり締まっているか  
確認してください。

## 6 ねじ止め禁止ラベルの取り外し

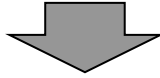
ねじ止め禁止ラベルが貼付けてある場合は、ラベルをはがします。

※ねじ止め禁止ラベルは、枠の両面に貼付けてありますので、両面はがしてください。

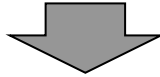


## □ 取り付け後の点検

■ 取り付け作業をしたねじ類の締め具合を確認してください。

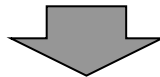


■ 本体についているモルタル等は完全に拭き取ってください。

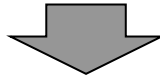


■ 折戸、框ドアの開閉テストをして、開閉に支障がないかを確認してください。

- ・ 開閉がスムーズであること。
- ・ 折戸、框ドアが全開できること。
- ・ 突合わせ部にすき間がないこと。

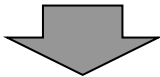


■ ガラスの施工後に ドアクローザーの調整を行ってください。



■ ガラスの施工後に再度 折戸、框ドアの開閉テストをして、開閉に支障がないかを確認してください。

- ・ 開閉がスムーズであること。
- ・ 折戸、框ドアが全開できること。
- ・ 突合わせ部にすき間がないこと。



■ お施主様に鍵と取扱説明書をお渡してください。



株式会社 TOKO

〒916-0062 福井県鯖江市熊田町1-100

電話 (0778)62-1122(代)

FAX (0778)62-2234

'23. 3